

# 確かな学力定着のために「家庭学習の充実」をめざして

【北広島町立八重東小学校】

子どもたちが将来の自立に向かって大きく羽ばたくためには、子どもたちに「生きる力」をしっかりと育む必要があります。この「生きる力」とは、知・徳・体のバランスのとれた力のことです。そこで、学校・家庭・地域の連携・協力のもと「生きる力」を育むために、家庭ではその基本的な資質や能力を培っていただくことが大切になります。例えば、早寝早起きの習慣化、家の手伝い、テレビやゲームの時間など家でのルール決め、そして家庭学習の定着などです。そこで、八重東小学校では、「**家庭学習の手引き**」（別紙一児童に説明して配布）を新たに作成しました。児童にも、家庭学習の大切さや取組方について指導をしています。

家庭学習の意義とねらい、保護者の関わりについては、次のようにまとめてみました。家庭と学校で連携をとってより効果的な取り組みをしていきたいと考えています。ご協力をよろしくお願いいたします。



## 家庭学習と「たくましく生きる力」について

小学校での学習は、子どもたちが将来社会人として自立するための基礎となる「学ぶ力」を育てます。学校は、基礎学力を高めるための努力をしていますが、家庭との協力によって、その成果を何倍にも高めることができます。

「学ぶ力」とは、「もっと調べてみたい」「もし…だと、どうなるのだろう」「なぜ…なのだろう」などと、自分で意欲や疑問をもちながら、知識を生かし、見通しをもって考える力のことを言います。家庭学習を毎日続けることで、しっかりとした考え方や集中力だけでなく、学習習慣が身につく、困難なことに出合ってもくじけないで積極的にチャレンジしようとする力が備わります。

家庭学習の定着は、子どもの主体性や自律性を伸ばし、目標をもって人生を心豊かに生きる力となって、将来への大きな財産となると考えます。

## なぜ、家庭学習をするのか(教育効果)



### (1) 学習内容の定着

学校で学習したこと（知識・技能等）を家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。特に漢字や計算などは、毎日繰り返し練習することで定着していきます。反復練習していると正確にしかも速く、反射的にできるようになります。ドリル学習などは、時間を意識してやることで効果が上がります。宿題を必ずやり、時間があったら自主学習を行うことで、学校で「わかった」ことが、家庭での反復学習によって「できる」という自信に変わります。

### (2) 自ら学ぶ習慣をつける

毎日家庭学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣が身に付きます。毎日続けることで、やがて、当たり前前の習慣になります。少しずつでも継続することが大きな力につながります。低学年のうちから毎日欠かさず家庭学習をすることが大切です。

### (3) 生活のリズムをつくり、がまん強さ、根気、集中力をつける

家庭学習の最大の敵はテレビやゲームなどの誘惑です。この誘惑に打ち勝って毎日決めた時間に、机について落ち着いて取り組むことによって自律心が育ち、がまん強さ、根気、集中力を養うことができます。テレビやゲームの時間を決めて学習や読書等の時間をしっかりと確保したいものです。

### (4) 脳の活性化

読み・書き・計算を毎日繰り返すことは、脳の活性化につながると言われています。脳も手足の筋肉と同じように、毎日繰り返し使うことで活発に動くようになります。鍛えれば、鍛えるほど発達し、たくましくなって、脳がいろいろなことにうまく使えるようになります。小学生のうちからどんどん鍛えていきましょう。

### (5) 家族のふれあい

「本を読んでいる時、横で聞いてあげる」、「勉強の仕方が分からない時、教えてあげる」など、家庭学習をしている子供に親が関わることにより、コミュニケーションがはかれます。家族のふれあいの機会が増えることは、子供の精神の安定につながり、心身も頭脳も健やかに育ちます。

## 保護者の家庭学習への関わりについて

### ○ 家庭学習の時間帯を子供と話をして決め、責任を持って守らせる。

家庭学習の時間は、学年で目安を決めて取り組んでいます。家庭学習の仕方については、学校で共通して指導しますので、家庭でもしっかりと指導・支援をしてください。

#### 《学校共通の「家庭学習の約束」》

- 学習を始める時刻を守り、学年ごとに決められた時刻を守り学習する。
- 机の上とまわりをきれいにし、学習に必要なものだけ出す。
- 下書きや定規を使って、ていねいに書く。
- 姿勢を正しくする。(鉛筆の持ち方に気をつける)
- テレビや音楽を消して、集中して勉強する。(おやつを食べながらしない)
- 始めに宿題をし、次に自主学習(予習・復習)に取り組む。



※ 目安の学習時間・の内容については、「家庭学習の手引き(別紙)」を参考に。

### ○ 自分で考えてやらせる。(安易に答えを教えないように)

次の日に学習する予習的な課題や思考力を高めるために発展的な問題が、家庭学習になることがあります。分からないからと言って、保護者がすぐに答えを教えないでください。子どもにじっくり考えさせ、教科書やノートを見させ一人で勉強する習慣を身につけさせてください。「教科書持ってきてごらん」「自分だったらこうやるよ」など子供の頑張りに努力に力を貸すスタンスを大切にしてください。ものごとをやり遂げる成功体験を積ませることで、子どもに自信をもたせることとなります。

低学年の時に、大人に頼る家庭学習をしていると一人学びの習慣がつかず、高学年になって苦労することになります。基本的には、わからないことを明確にさせ、考え方のヒントを出したり子どもに調べさせたり学校で先生に聞いたりするように指導してください。子供自ら、質問して解決していく経験をさせることも大切なことです。学校もその状況を踏まえ個別の指導をすることができず。時々、思考力を高めるために、発展的な学習問題を宿題にすることがあります。その際も、同様な対応をよろしくお願いします。

### ○ 学校から帰ったらすぐやらせる。

宿題は帰宅後なるべく早いうちにやらせます。人間の記憶は、初めて覚えてから20分後にはもう32パーセント忘れ、一時間後には50パーセントも忘れ、一日後には66パーセントも忘れてしまうのです。そして、覚えてから時間がたてばたつほど、再び記憶するのに時間が長くなります。遊びは宿題をすませてからするように習慣づけておきます。

### ○ 宿題を進んでしたくなる落ち着いた静かな雰囲気をつくる。

テレビをつけたり音楽を聴いたりしながら学習しても、効果は上がりません。学習する場所を考えたり、学習時間は家でテレビを見ないようにしたりするなど、児童が落ち着いた環境で学習ができるように、各家庭で工夫や約束をしていただくように、よろしくお願いします。

### ○ 辞書や図鑑・パソコン(インターネット活用等)を使わせる。

分からないときは、辞書や図鑑・パソコンを一人で利用して勉強の方が効果があります。自分一人で考える習慣も身につきます。インターネットの活用が可能ならば、必要に応じて許可を出すようにしてください。教科書のQRコードを読み取り、学習を進めることも効果的です。

### ○ できたら、まず誉める、そして励ましの声を！！

学習したことにできるだけ目を通し、声をかけてやってください。誉めたり励ましたりしてやることで、児童はどんどんやる気を出します(特に低学年)。せっかく一生懸命やってやっと宿題が終わったのに「もう終わったの。」と不満そうな感想をもらすのはよくありません。勉強が終わったならなによりまず、「よくやったね。」「続けることで、力がついてきたね。」「明日もがんばれるといいね。」「言われなくても学習できることは、素晴らしいことだよ。」など、温かい言葉で誉めてあげてください。そして、「早く終わったら、自主学習をしてみたら!？」と、声かけをしてやってください。また、定期的に、子どもの学習の内容・取組ぶりについて把握して誉めたり叱咤激励してやったりしてください。

※ 児童の学習の様子について、気になることがありましたら、遠慮なく担任に連絡してください。

※ 子どもの実態に応じて、一人一人の子供の力を最大限に育てるために、基礎的な学習や発展的な学習内容を個に応じて設定して取り組む場合があります。ご理解ください。

# 家庭学習の手引き(1年生)

<保護者が「手引き」もとに指導>

## 【家庭学習のやりかたについて】

- (1) テレビを消して、トイレをすませ、集中しましょう。
- (2) 落ちついた場所で、机の上などを、きれいにかたづけてやりましょう。
- (3) 勉強する時間を、決めましょう。
- (4) 正しい姿勢で勉強しましょう。
- (5) 宿題を毎日、音読・読書を進んでしましょう。
- (6) 宿題が終わったら、予習・復習するもよいと思います。
- (7) 1年生の勉強時間は、20分～30分が目安です。
- (8) 家庭学習が終わったら、明日の準備をしましょう。

- ①教科書、ノート、下敷き
- ②筆箱(けずった鉛筆、けしゴム、ものさし、赤鉛筆 など)
- ③宿題、連絡帳
- ④ハンカチ、ティッシュ



## 【こんなことができるように、がんばりましょう】

- 国語などの教科書が、スラスラ読めるようになる。
- 大きな声で、本が読める。(黙って静かに本が読める<黙読ができる>)
- ひらがな、カタカナが読める、書ける。
- 習った漢字を読める、書ける。 ○鉛筆を正しく持って、はっきりとした字が書ける。
- 順序よく話せる、書ける。 ○たし算、ひき算ができる。
- 「は」「を」「へ」「」を正しく使って文を書ける。



## 【学習は、次のことに気をつけてみましょう】

- (1) 本読みでは・・・
  - ① 国語の教科書が、スラスラ読めるように、練習しましょう。
  - ② ゆっくり、はっきりと読みましょう。
  - ③ できるようになったら、会話文や「、」「。」に気をつけて読みましょう。
- (2) 国語の勉強では・・・
  - ① 習ったひらがなやカタカナ、漢字が正しく書けるように書き順に気をつけて練習をしましょう。
  - ② 教科書の文章を、ノートに丁寧に写してみよう。
  - ③ 文章を書く時には、「は」「を」「へ」に気を付けて書きましょう。
- (3) 算数の勉強では・・・
  - ① 数字は、正しい書き順で、書きましょう。
  - ② 終わったら、もう一度、見直しましょう。
  - ③ まちがえた問題は、もう一度やりましょう。



## 【ほかにこんなことも、すすんでしてみよう】

- 読書を進んでする。 ○ 教科書を写す。
- ドリルをする。(計算、漢字など)
- 絵日記や日記を書く。 ○ 辞典や図鑑で調べる。
- 生き物や草花を観察する。
- 時計を見て時間をいう。
- 明日、学校で勉強するところ(教科書)を読む。
- テストでまちがった問題を、もう一度やってみる。  
⇒分からないところ、大切と思うところに線を引く。
- 教科書のQRコードを読み取ったり、パソコンを使ったりして学習する。

# 「かていがくしゅう」のてびき(2年生)

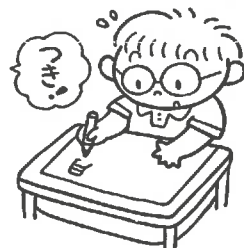
## 【「かていがくしゅう」の やりかたについて】

- (1) テレビを けて、トイレを すませ、しゅう申しませう。
- (2) おちついた ばしよで、つくえの 上などを、きれいに かたづけてやりませう。
- (3) べんきょうする じかんを きめませう。
- (4) 正しいしせい で べんきょうしませう。
- (5) しゅくだいを まいにち、音どく・どくしよを すすんでしませう。
- (6) しゅくだいが おわたたら、よしゅう・ふくしゅうすることも いいとおもいます。
- (7) 2ねんせいの べんきょうじかんは 30ふんが めやすです。



- (8) かていがくしゅうが おわたたら、あしたの じゅんびを しませう。

- ① きょうかしよ、ノート、下じき
- ② ふでばこ (けずったえんぴつ、けしゴム、ものさし、あかペン など)
- ③ しゅくだい、れんらくちよう
- ④ ハンカチ、ティッシュ



## 【「こんなこと」ができるように、がんばりませう】

- 大きな こえて、本が よめる。 ○ 「、」や「。」に気をつけて すらすらよめる。
- ならったかん字を 正しくよめる、かける。 ○ じゅんじよよく はなせる、かける。
- たしざん、ひきざんが 正しくできる。 ○ かけざん九九が すらすらいえる。
- ものさしを つかって じょうずに せんが ひける。
- きめられたながさの ちよくせんが ひける。



## 【「がくしゅう」は、つぎのことに、気をつけてしませう】

- (1) 本よみでは・・・
  - ① こくごの きょうかしよが、すらすら よめるように、れんしゅうしませう。
  - ② ゆっくり、はっきりと よみませう。
  - ③ できるようになったら、かいわ文や「、」「。」に気をつけて よみませう。
- (2) こくごの べんきょうでは・・・
  - ① ならった ひらがなや カタカナ、かん字が 正しくかけるように かきじゅんに 気をつけて れんしゅうを しませう。
  - ② きょうかしよの 文しよを ノートに ていねいに うつしてみませう。
  - ③ 文しよを かくときには、「は」「を」「へ」に気をつけて かきませう。
- (3) さんすうの べんきょうでは・・・
  - ① すう字は、正しいかきじゅんで、かきませう。
  - ② おわたたら、もう一ど、見なおしませう。
  - ③ まちがえたもんだいは、もう一ど、やりませう。

## 【「ほかに、こんなこと」も、すすんでしてみませう】

- どくしよをする。(よんでもらう、むかしばなしもいいですね。)
- きょうかしよを うつす。 ○ ひっさんなどの ドリルをする。
- かけざん九九を おぼえる。 ○ △や□を しらべる。
- にっきを かく。 ○ いえの 手つだいを する。
- 生きものや 草花を かんさつする。 ○ じてんや ずかんで しらべる。
- あした 学校で べんきょうするところを よむ(きょうかしよ)。  
⇒ わからないところ、たいせつとおもうところに せんをひく。
- テストで まちがったもんだいを、もう一ど やってみる。
- きょうかしよの QRコードを よみとったり、パソコンを つかったりして がくしゅうする。



# 家でい学習(がくしゅう)について (3年生)

## 【家でい学習のやり方について】



- (1) おちついたきまったところで、つくえの上などをきれいにかたづけてやりましょう。
- (2) テレビなどをけして、時間をきめて、早めにはじめましょう。
- (3) 3・4年生の時間のめやすは、40分～50分です。
- (4) 正しいしせいで、下じきや定規(じょうぎ)をつかって、ていねいに書きましょう。
- (5) 宿題(しゅくだい)を毎日、音読・読書などを進んでしましょう。
- (6) 宿題がおわったら、自しゅ学習(よ習・ふく習も入る)にとりくみましょう。
- (7) 家でい学習がおわったら、明日のじゅんびをしましょう。



## 【宿題(しゅくだい)をしたあとの予習(よしゅう)・復習(ふくしゅう)】

### 【予習・復習をしよう】

宿題がおわったら、学校でのじゅぎょうをふかく理かいするための予習、復習をしましょう。どんなことをすればいいでしょう？ たとえば、つぎのようなやり方があります。

- 予習：○ 明日の授業で学習する教科書のページを読む。読むことで、授業で何をべんきょうするかを知る。大切なところに線(せん)を引き、分からないところに印(しるし)をつける。分からないことば・たんごなどを辞書(じしょ)でしらべる・もんだいをといてみる。分からないところがあってとうぜん、声に出してよむとよい。  
○ 分かるところ、分からないところをはっきりさせて、次の日の学習にのぞみましよう。
- 復習：○ 授業で学習したことを家りふりかえる。ノートをよみかえしてみる。自分で「だいじょうぶだ、分かった」と思ったら「OK」などの印をつけてみる。そうすることで、分かるところとそうでないところがはっきりとする。おぼえたいことは、ノートに書いておぼえる。分からなかったところに印(しるし)をつけて、しらべたり、つぎの日に先生に聞いたりする。

## 《 しゅう中して学習するために 》



# 家でい学習について（4年生）

## 【家でい学習のやり方について】



- (1) 落ちついた決まったところで、つくえの上などをきれいにかたづけてやりましょう。
- (2) テレビなどをけして、時間を決めて、早めに始めましょう。
- (3) 3・4年生の時間のめやすは、40分～50分です。
- (4) 正しいしせいで、下じきや定規（じょうぎ）をつかって、ていねいに書きましょう。
- (5) 宿題を毎日、音読・読書などを進んでしましましょう。
- (6) 宿題がおわったら、自しゅ学習（よ習・ふく習も入る）にとりくみましょう。
- (7) 家でい学習が終わったら、明日のじゅんびをしましましょう。



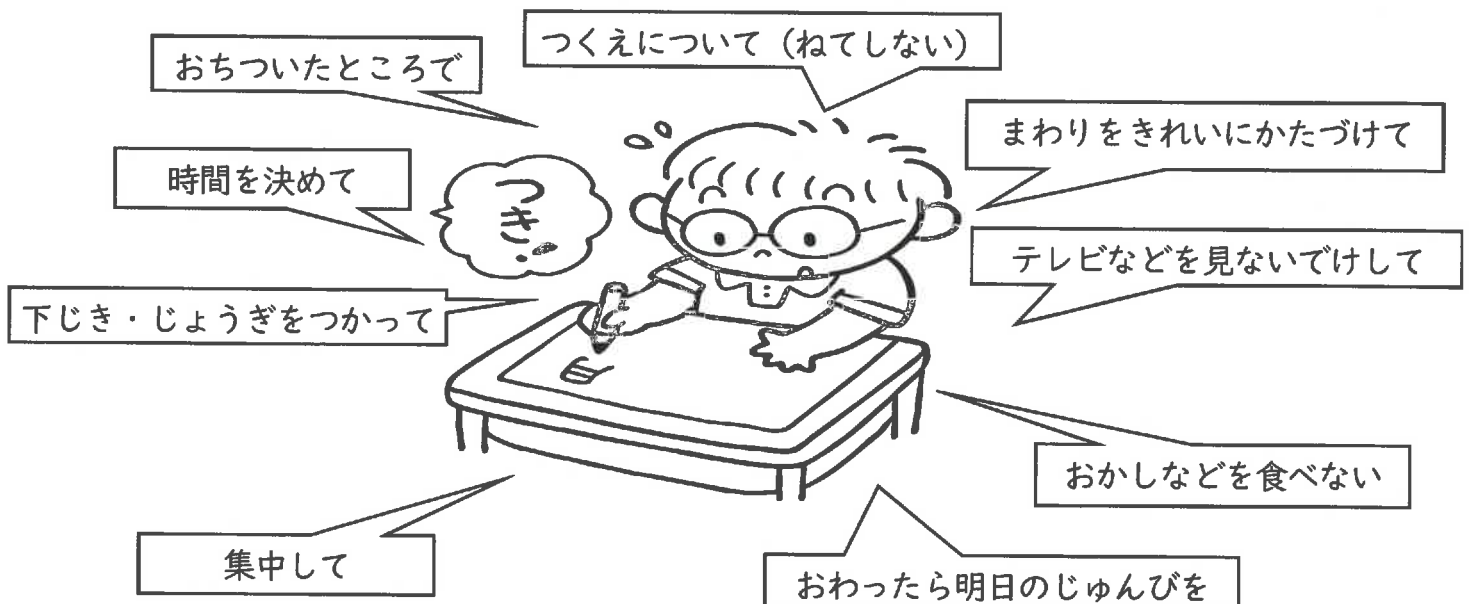
## 【宿題をしたあとの予習・復習】

### 【予習・復習をしよう】

宿題が終わったら、学校でのじゅ業を深く理かいするための予習，復習をしましましょう。どんなことをすればいいでしょう？ たとえば，次のようなやり方があります。

- 予習：○ 明日のじゅ業で学習する教科書のページを読む。読むことで，授業で何をべんきようするかを知る。大切なところに線を引き，分からないところに印をつける。分からない言葉・単語などを辞書でしらべる・問題をといてみる。分からないところがあつてとうぜん，声に出して読むとよい。
  - 分かるところ，分からないところをはっきりさせて，次の日の学習にのぞみましよう。
- 復習：○ 授業で学習したことを家でふりかえる。ノートを読みかえしてみる。自分で「だいじょうぶだ，分かつた」と思つたら「OK」などの印をつけてみる。そうすることで，分かるところとそうでないところがはっきりとする。おぼえたいことは，ノートに書いておぼえる。分からなかつたところに印をつけて，しらべたり，次の日に先生に聞いたりする。

## 《 集中して学習するために 》



# 家でい学習(がくしゅう)の手引 (3・4年生)

## 【「自しゅ学習」にとり組もう】

宿題(しゅくだい)のほかに自分でくふうする勉強(べんきょう)です。とくいなことはのばし、にがてなことはこくふくしていきましょう。「学校で学習しておわり」ではなく、それを生かしているいろいろなことにとり組むことが、これから大切になってきます。たとえば、つぎのような方ほうがあります。

### 《国語》

つきたい力	学習内よう
かん字をおぼえたい。	○かん字ドリルに出ているれい文やじゅく語をれんしゅうする。 ○国語の教科書「この本でならうかん字」に出ているれい文やじゅく語をれんしゅうする。 ○かん字テストでまちがえたかん字をれんしゅうする。 ※ 読み方やひつじゅんもたしかめよう。
ローマ字をおぼえたい。	○ローマ字をれんしゅうする。(ローマ字しりとり、ローマ字日記など)
いろいろなことばを知りたい。	○かん字ドリルや教科書に出てくることばのいみしらべをする。そのことばをつかった文づくりをする。 ○ことわざ・かんようくなどをしらべる。
文しょうを読みとる力をつけたい。	○教科書を音読する。(つなぎことばに気をつけ、内ようを考えながら) ○本を読んであらすじをまとめ、かんそうを書く。 ○教科書をうつして書き、ひょうげんのくふうに線をひく。そこからそうぞうしたこと(人物の気もちなど)やかんがえたことを書きこむ。
文しょうを書く力をつけたい。	○日記を書く。「はじめ・中・おわり」を考える。できごとやようす、気もちをわかりやすく書く。 ○詩(し)や五七五などを書き、それにこめた思いなどをまとめる。 ○新聞の切りぬきをはり、その記じを読んで考えたことを書く。
つぎにどんな学しゅうをするのかしりたいたい。	○つぎに学習するところを読む。分からないところ、大切と思うところに線を引く。いみの分からないことばをしらべる。

### ＜その他＞

- 教科書いがかいの本を音読したり、きょうみをもった本を読んだりする。
- ならったことにかんけいする「ことば」や「かん字」のいみ、ゆらいについて調べる(国語じてんを、正しくつかえるようにする)。
- 新聞や本などをりようして、自分なりに新聞を書いてみる。
- 言葉(ことば)のいみしらべ。教科書をうつして書く。(今、学習しているところなど)
- かん字の書きじゅんやへん・つくりしらべ。じゅくごれんしゅう、文しょうれんれんしゅう。「かん字じてん」や「かん字ドリル」でたしかめよう
- 作家かつどう(ものがたり作り)。おすすめの本やお気に入りのものしょうかいをする。
- 自作の詩(し)・俳句(はいく)などをつくる。みじかい詩やことわざをおぼえる。

### 《算数》

つきたい力	学習内容
計算がはやく正しくできるようにになりたい。	○計算ドリルをくりかえしてれんしゅうする。(ドリルに書いてある時間のめやすを目ひょうにして)
学しゅうしたことがきちんとできるようにになりたい。	○学校で学しゅうしたもんだいを、もういちどノートにやる。 ○教科書の「ほじょうもんだい」をやる。 ○テストやプリントなどのまちがえたもんだいをもういちどやる。 ○大切なことばや図形のきまりなどをまとめる。 ※しきや答えだけでなく、考え方を書くときつ明する力がつくよ。
つぎにどんな学習をするのかしりたいたい。	○教科書で、つぎに学習するところを読む。分からないところ、大切と思うところに線を引く。

### ＜その他＞

- 学習したことを、みの回りのじっさいの生活に生かしてやってみる。
- 計算ドリルのふくしゅう。まちがったもんだいを、もういちどやってみる。テストのために、今まで学習してきたもんだいを、もういちどやってみる。
- 学習したことをまとめ、大切な「ことば」をノートに書いておぼえることができるようにする。  
【3年】◇わり算ができる。コンパスを正しく使うことができる。◇はかりをつかっておもさが読める。◇いろいろな三角形のちがいが分かる。  
【4年】◇わり算の筆のひっ算ができる。◇「へいこうしへんけい」や「台形」のとくちょうが分かる。◇「分どき」を正しくつかうことができる。

## 《社会》

つきたい力	学習内容
学習したことをおぼえたい。	○学校で学習したことを、もういちどノートにまとめる。 ○分からないことをしらべたり、大せつなことばとそのいみをまとめたりする。 ○テストやプリントなどのまちがえたもんだいをもう一どやる。
学習したことをもっとしりたい。	○学習する中で、分からなかったこと、もっと知りたいと思ったことを、本やインターネットなどでしらべ、まとめる。 ○学習にかんけいする本を読む。
つぎにどんな学習をするのか知りたい。	○教科書・しりょうなど、つぎに学習するところを読む。大切と思うところ、分からないところに線をひく。

### <その他>

- 新聞などを読んで、社会のできごとについて自分の考えや思いをまとめる（ノート・新聞）。
- 教科書などにある写真（しゃしん）・絵・図やグラフなどのしりょうを見て、ふしぎに思うことに線をひいたり、分かることや考えられることをノートに書いたりする。
- 学習したこと、教科書の大切なことを、図・絵や表（ひょう）を使ってわかりやすくノートにまとめたりおぼえたりする。
- 【3年】地図の見方と地図記号がわかる。
- 【4年】◇47都道府県（とどうふけん）の名前といちが分かる。

## 《理科》

つきたい力	学習内容
学習したことをおぼえたい。	○学校で学しゅうしたことを、もういちど、図や表をつかって、自分なりにノートにまとめる。 ○大切なことばとそのいみをまとめる。 ○じっけんなどの用ぐの名前やつかい方をまとめる。 ○テストやプリントなどのまちがえたもんだいをもう一どやる。
学習したことをもっと知りたい。	○学習する中で、分からなかったこと、もっと知りたいと思ったことを、本やインターネットなどで調べ、まとめる。 ○学習したことについて、家や地いきでじっさいにしらべたり、自分でかんさつしたり、じっけんしたりする。 ○学習にかんけいする本を読む。
つぎにどんな学習をするのか知りたい。	○教科書で、つぎに学習するところを読む。分からないところ、大切と思うところに線を引く。

### <その他>

- じっけんの手じゅんをまとめる。
- 科学けんきゅうに向けたけんきゅうをする。
- きょうみ・かんしんがあることについて、つづけてみのまわりのげんしょうなどをかんさつし、へんかをしらべる。
- きょうみをもった「生きもの」や「しょくぶつ」のスケッチをかき、そのとくちょうを知る。
- 学習にかんけいすることをしらべる。
- しょくぶつや生き物のかんさつ日記をつける。

## 《ほかの教科》

### 《音楽》

- 五せんふに曲（きょく）をうつす（音楽の教科書）。
- 音楽記号とその意味（いみ）についてまとめる（音楽の教科書にのっている）。
- かんしょう曲に出てくる作曲（さっきょく）家についてしらべる（名前・国・作った曲名 など）。
- 歌しをうつつて、いみをしらべてまとめる。じっさいに歌ってみる。

### 《外国語活動（かつどう）》

- アルファベットを書いておほえる。
- 学習をした英語をじっさいに話してつかってみる。
- パソコンでローマ字入力ができるようにする。



※できれば、教科書のQRコードを読みとったり、パソコンを使ったりして学習することもしてみよう。

- おたよりをお家の人に見せましたか。
- 明日の時間わりをそろえましたか。

- 宿題（しゅくだい）は、終わりましたか。
- もういちどたしかめましょう。



# 家庭学習について（5・6年生）

## 【家庭学習のやり方について】



- (1) 落ち着いた決まった場所で、机（つくえ）の上などをきれいにかたづけやりましょう。
- (2) テレビなどをけして、時間を決めて、早めに始めましょう。
- (3) 5・6年生の時間のめやすは、60分～70分です。
- (4) 正しい姿勢（しせい）で、下じきや定規を使って、ていねいに書いて勉強しましょう。
- (5) 宿題を毎日、音読・読書などを進んでしましょう。
- (6) 宿題が終わったら、自主学習（予習・ふく習も入る）に取り組みましょう。
- (7) 家庭学習が終わったら、明日の準備（じゅんび）をしましょう。



## 【宿題をした後の予習・復習（ふくしゅう）】

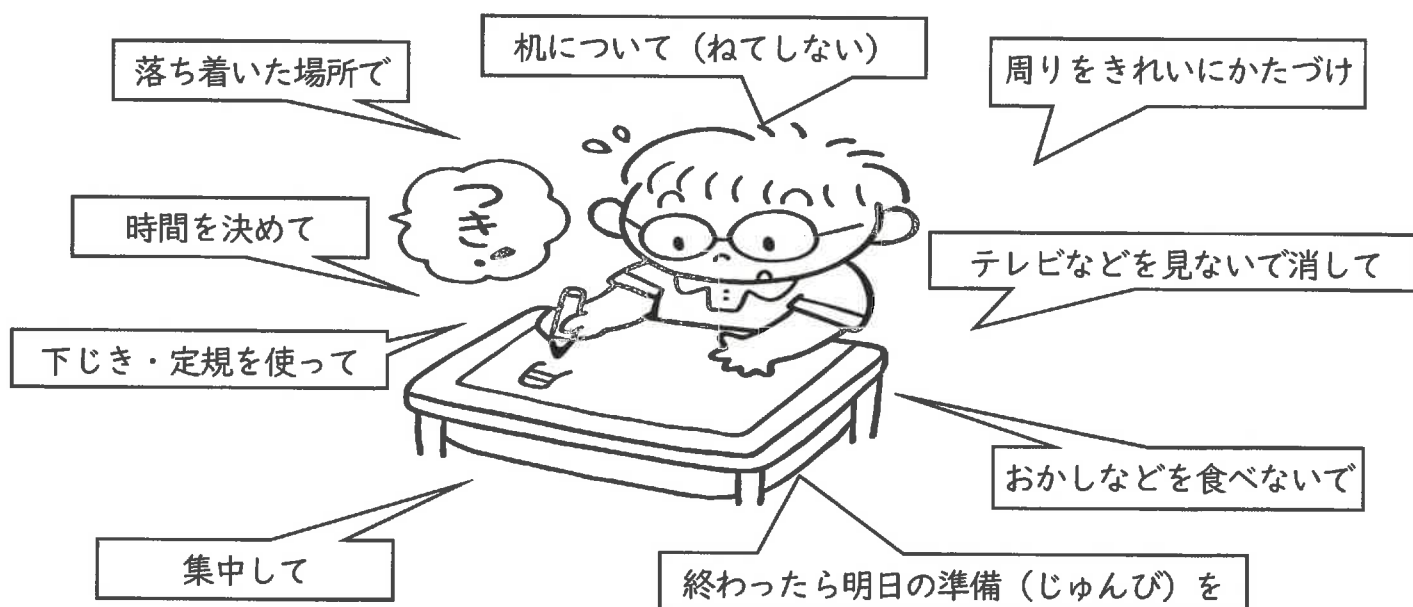
### 【予習・復習をしよう】

宿題が終わったら、学校での授業をより深く理解するための予習、復習をしましょう。どんなことをすればいいでしょう？ 例えば、次のような方法があります。

- 予習**：○明日の授業で学習する教科書のページを読む。読むことで、授業で何を勉強するかを知る。大切なところに線を引き、わからないところに印をつける。分からない言葉・単語などを辞書で調べる・問題や課題をといてみる。分からない部分があって当然、声に出して読むと、より効果的（こうかてき）になる。  
○分かったところ、分からないところを明らかにして、次の授業にのぞみましょう。

- 復習**：○授業で学習した内容を家でふり返る。ノートを読み返してみる。自分で「大じょうぶだ、分かった」と思ったら「OK」などの印をつけてみる。そうすることで、分かるところとそうでないところがはっきりとする。覚えたいことは、ノートに書いて覚える。分からなかったところに印をつけて、調べたり次の日の先生に聞いたりする。

## 《 集中して学習するために 》



# 家庭学習の手引（5・6年生）

## 【自主学習に取り組もう】

宿題の他に自分で工夫する勉強です。得意なことはのびし、苦手なことは、こく服していきましょう。「学校で学習して終わり」ではなく、それを生かしていろいろなことに取り組むことが、これから大切になってきます。例えば、次のような方法があります。

### 《国語》

つきたい力	学習内容
漢字や語句を覚えたい。	○漢字ドリルに出ている例文や熟語（じゅくご）を書いて練習する。 ○国語の教科書「この本で習う漢字」に出ている例文や熟語を練習する。 ○漢字テストでまちがえた漢字を練習する。※読み方や筆順も確かめよう。
ローマ字を覚えたい。	○ローマ字を練習する（ローマ字しりとり、ローマ字日記 など）
いろいろな言葉を知りたい。	○漢字ドリルや教科書に出てくる言葉の意味調べをする。その言葉を使った作文をする。 ○ことわざ・慣用句・四字熟語などを調べる。
文章を読み取る力をつけたい。	○教科書を音読する。（内容や構成に気をつけながら） ○本を読んであらすじをまとめ、感想を書く。 ○視写（書き写し）をして、表現の工夫に線を引く。そこから想像したこと（情景や登場人物の気持ちなど）や考えたことを書きこむ。
文章を書く力をつけたい。	○日記を書く。（「初め・中・終わり」の構成を考える。でき事だけでなく様子や気持ちを工夫して具体的に書く。） ○詩や五七五などを書き、それにこめた思いなどをまとめる。 ○新聞の切りぬきをはり、その記事を読んで考えたことを書く。
次にどんな学習をするのか知りたい。	○次に学習するところを読む。分からないところ、大切と思うところに線を引く。 ○教科書を読んで、意味の分からない言葉を調べる。

#### <その他>

- 教科書以外の本を音読したり、興味をもった本を読んだりする。
- 習ったことに関係する言葉や漢字の意味、由来について調べる。
- 新聞や本などを利用して、自分なりに新聞を書いてみる。
- 言葉の意味調べ。視写。（今、学習しているところなど）
- 漢字の書き順やへん・つくり調べ。熟語練習、文章練習。（漢字辞典や漢字ドリルで確かめよう）
- 四字熟語や熟語の意味調べ・ことわざ・慣用句調べ。（漢字辞典や国語辞典をひいてみよう）
- 作家活動（物語作り）。おすすめの本やお気に入りの物の紹介。
- 自作の詩・俳句・川柳（せんりゅう）をつくる。有名な俳句・短歌・百人一首を調べて視写する。

### 《算数》

つきたい力	学習内容
計算が速く正確にできるようにになりたい。	○計算ドリルをくり返して練習する。（ドリルに書いてある時間の目安を目標にして）
学習したことがきちんとできるようにになりたい。	○学校で学習した問題を、もう一度ノートにやる。 ○テストやプリントなどのまちがえた問題をもう一度やる。 ○大切なポイントをまとめる。（公式、計算方法、図形の性質、用語など） ※ 式や答えだけでなく、考え方をノートに書くと説明する力がつく。
次にどんな学習をするのか知りたい。	○教科書で、次に学習するところを読む。分からないところ、大切思うところに線を引く。

#### <その他>

- 学習したことを、身の回りの実際の生活に生かしてやってみる（面積・体積を求める公式を利用し、身の回りのものの面積・体積を求める など）。
  - 計算ドリルの復習。まちがった問題をもう一度解く。テストのために、今まで学習してきた問題をもう一度やってみる。
  - 授業で問題のポイントをまとめる。公式や算数用語・大切なことをノートに書いたり覚えたりする。
- 【5年】** ◇小数のかけ算・わり算ができる。◇異分母の分数のたし・ひき算ができる。  
◇割合、百分率を使った問題を解くことができる。
- 【6年】** ◇分数のかけ算・わり算ができる。◇ $x$ や $y$ 等文字を使った式をかくことができる。  
◇拡大や縮小の意味が分かり図がかけられる。◇帯分数のたし算・ひき算ができる。

## 《社会》

つきたい力	学習内容
学習したことを覚えたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校で学習したことを、図や表に表して、もう一度自分なりにノートにまとめる。</li> <li>○山や川の名前・地域の特産物・大切な専門用語などを、ノートに繰り返し書いたり、白地図に書きこんだりして覚える。(5年)</li> <li>○歴史人物・できごとの年号、大切な専門(せんもん)用語などを、ノートにくり返し書いたり、カードを作ったりして覚える。(6年)</li> <li>○分からないことを調べたり、大切な言葉とその意味をまとめたりする。</li> <li>○テストやプリントなどのまちがえた問題をもう一度やる。</li> </ul>
学習したことを広げたり深めたりしたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習する中で疑問(ぎもん)に思ったことを、本やインターネットなどで調べ、まとめる。</li> <li>○学習に関係する本を読む。</li> </ul>
次にどんな学習をするのか知りたい。	○教科書・資料など、次に学習するところを読む。大切と思うところ、分からないところに線を引く。意味の分からない言葉を調べる。

### <その他>

○学習したこと、教科書の大切な言葉を、図・絵や表を使って分かりやすくノートにまとめたり覚えたりする。(5年-白地図に書きこむ、6年-歴史年表を作る 等)

【5年】◇気候にあった生活の工夫が分かる。◇47都道府県の名前と位置が分かる。

◇日本のつながりの深い国の名前と位置が分かる。

【6年】◇歴史上の人物や出来事について説明することができる。

○教科書等にある写真・絵・図やグラフなどの資料を見て、疑問に思うことに線を引いたり、分かることや考えられることをノートに書いたりする。

○新聞等を読んで、社会のできごとについて内容と自分の考えや思いをまとめる(ノート・新聞)。

## 《理科》

つきたい力	学習内容
学習したことを覚えたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校で学習したことを、もう一度、図や表を使って、自分なりにノートにまとめる。</li> <li>○大切な言葉とその意味をまとめる。○用具の名前や使い方をまとめる。</li> <li>○テストやプリントなどのまちがえた問題をもう一度やる。</li> </ul>
学習したことを広げたり深めたりしたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習する中で疑問に思ったことを、本やインターネットなどで調べ、まとめる。</li> <li>○学習したことについて、家や地域で実際に調べたり、自分で観察したり実験したりする。</li> <li>○学習に関係する本を読む。</li> </ul>
次にどんな学習をするのか知りたい。	○教科書で、次に学習するところを読む。分からないところ、大切と思うところに線を引く。

### <その他>

○実験の手順をまとめる。

○学習に関係することを調べる(星座・植物・こん虫など)

○科学研究出品に向けた研究をする。○植物や生き物の観察日記をつける。

○興味・関心があることについて、けい続して身の回りの現象などを観察し、変化を調べる。

○興味をもった生物や植物のスケッチをかき、その特ちょうを知る。

## 《他の教科》

### 《音楽》

○五線譜(ふ)に曲を視写する(教科書を見て写してみる)。○学習している笛等の練習をする。

○音楽記号とその意味についてまとめる(音楽の教科書にのっている)。

○かん賞曲に出てくる作曲家について調べる(名前・出身地・作った曲名 など)。

○歌詞(かし)を視写し、意味を調べてまとめる。実際に歌ってみる。



### 《家庭科》

○家の食事を3色に分けてみる(赤・黄・緑に分け、気付いたことを書いてみる)。

○自分で考えて、バランスの良い献(こん)立を立てて調理をする。○家にある布等を使って裁ほうする。

### 《外国語》

○アルファベットを書いて覚える。

○英文を写して、日本語の訳(やく)を書く。

○自分で英作文を書く。

○学習をした英語を実際に話して使ってみる。

※できれば、教科書のQRコードを読み取ったり、パソコンを使ったりして学習することもしてみよう。

○お便りをお家の人に見せましたか。○明日の時間わりをそろえましたか。